

福岡県田川郡赤村（土砂災害警戒区域内の里山林の整備や森林経営管理制度に基づく意向調査アンケートの実施）

- 赤村は総面積の約7割が森林面積であるが、森林所有者の森林整備に関する関心が低いことや、担い手が不足していることが課題となっている。そのため、森林環境譲与税を活用し赤村防災マップに掲載されている土砂災害特別警戒区域内の里山林（住宅に隣接する山林など）の公益的機能の維持、向上、回復を図るとともに倒木、土砂災害等による災害を軽減する目的として里山林の除伐、除竹等の整備を進める方針。また、森林経営管理制度に基づく意向調査アンケートを実施していく方針。
- 令和5年度は里山林の整備を要望した2地区について、里山林の整備に要した経費について補助を行い、住宅に隣接する里山林（0.3149ha）を整備した。また、森林経営管理制度の意向調査については、85名（計60.35ha）の森林所有者へ意向調査アンケートを送付し、回答結果の集計、整理の業務委託を行った。

□ 事業内容

(1)土砂災害警戒区域内における里山林整備事業の実施

【事業費】4,298千円

（インストラクター報酬費33千円を含む。）

【実績】①面積 0.3149ha ②地区数 2地区

③里山林隣接者等（受益者世帯10世帯、24人）



（整備前の状況）



（整備後の状況）

(2)森林経営管理に基づく意向調査アンケートの実施

【事業費】1,122千円（全額譲与税）

【実績】①対象林班 7～10林班 ②実施面積 60.35ha

③送付数 85件

□ 工夫・留意した点

(1)の事業については、整備の優先順位の決定に際し、森林インストラクターの意見等基準を設けるとともに、里山林整備計画を示し、整備内容に対しイメージの共有を図ることで、整備後に問題が発生しないようきめ細やかに協議を重ねた。

(2)については、意向調査アンケートの送付等の業務を森林組合へ委託することにより、円滑に業務を進められた。

□ 譲与額の使途状況

①令和5年度当初基金積立額	638千円
②令和5年度譲与額	4,178千円
③令和5年度事業費	5,420千円
④令和5年度末時点積立総額	0千円

※不足分については村単費を使用。

□ 基礎データ

①私有林人工林（ha）※1	1,149ha
②林野率（％）※1	71.49％
③人口（人）※2	2,774人
④林業就業者数（人）※2	2人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より